

被災者支援、生活再建へ全力！

西日本豪雨災害

日本共産党

参議院議員・弁護士

仁比そうへい

14府県で200人を超える死者・行方不明者を出し、全壊約2千8百軒を含む3万7千軒近い家屋被害を出した「西日本豪雨災害」——。日本共産党の仁比そうへい参院議員は、発災直後から、被害が大きかった広島県、岡山県、愛媛県入りし、党地方議員らと共に、被災者への支援、生活の再建へ全力をあげています。



倉敷市真備町で被災者から要望を聞く仁比議員ら



愛媛県大洲市で被災状況を調査する仁比議員ら



仁比議員が党対策本部の事務局長として奮闘

ただちに被災地へ住民から要望聞く
仁比参院議員は、運休だった新幹線が動き始めた7日夕に広島入り。翌8日には、土砂災害が相次いだ広島市安芸区を、高見あつみ参院広島選挙区予定候補、広島市議団とともに調査し、住民の要望を聞きました。

9日には、大平喜信前衆院議員とともに、土砂崩れと浸水で大きな被害が出た呉市天応地区を、広島市からの高速船を利用し訪れ、被災者を見舞いながら要望を聞きました。午後からは東広島市に入り、被災状況を調査し、15日区で被害調査し、15日には、岡山県倉敷市真備町を訪れました。

10日には、白川よう子四国ブロック国政対策委員長とともに、愛媛県大洲市に入り、被災者からは、「商業・農業が続けられない」「支援策を早く」などの切実な声が寄せられました。

党調査団として
広島市や倉敷市へ
仁比議員は12日、党豪雨災害調査団の一員として小池晃書記局長らとともに広島市安芸区で被害調査し、15日には、岡山県倉敷市真備町を訪れました。

記録的豪雨による被害が西日本一帯に広がるなか、日本共産党国會議員仁比そうへい氏は、7月6日、「2018年7月豪雨災害対策本部」の被害について報告。引き続き、岡山県などに入り、被災者支援に全力をあげる決意を語りました。

認。仁比参院議員が、事務局長に就きました。11日の会議（写真）で仁比議員は、広島県、愛媛県



国へ要請書を提出する地方議員ら

被災者の支援拡充
国に要請 広島、岡山
広島・岡山両県の日本共産党が13日、被災者の生活と生業（なりわい）再建、地域再生のための国の支援策などを各省庁に要請しました。仁比議員が同席し、避難所の生活環境改善、民地内の土砂撤去などを強く求めました。

日本共産党・参議院議員
仁比そうへい国会報告
2018年7月号

発行：仁比聡平国会事務所
東京都千代田区永田町2-1-1
参院議員会館815号室
☎ 03-6550-0815 FAX 03-6551-0815
日本共産党の見解を紹介します。



【略歴】●1963年北九州市で新日鉄労働者の家に生まれる。小倉高校、京都大学法学部卒●弁護士（北九州第一法律事務所）、1999年から国政候補として活動、2004年参院選の比例区で初当選。13年参院選で議席奪還●議運理事、憲法、情報監視、予算、決算、国土交通、法務、災害委員などを歴任。現在は党中央委員、党参院国対副委員長●家族：妻/1女1男。